

製品名: eIF4A1(M8)マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM10382**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、pH 7.4、0.5% 保護タンパク質、防腐剤として 0.02% 新型防腐剤 N、50% グリセロールを含有。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:3000,IHC 1:50-1:300,ICC/IF 1:100-1:200
分子量	48kDa

抗原情報

遺伝子名	EIF4A1
別名	Eukaryotic initiation factor 4A-I (eIF-4A-I) (eIF4A-I) (EC 3.6.4.13) (ATP-dependent RNA helicase eIF4A-1)
遺伝子 ID	1973.0
SwissProt ID	P60842
免疫原	eIF4A1 の合成ペプチド

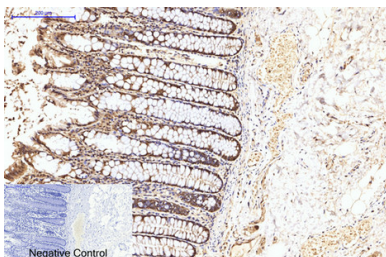
背景

機能:ATP 依存性 RNA ヘリカーゼ。キャップ認識に関与する eIF4F 複合体のサブユニットであり、mRNA のリボソームへの結合に必須。現在の翻訳開始モデルでは、eIF4A は mRNA の 5'-UTR にある RNA 二次構造をほどく。これは、リボソームの小サブユニットの効率的な結合と、それに続く開始コドンのスキャンを可能にするために必要である。類似性:DEAD ボックスヘリカーゼファミリーに属します。類似性:DEAD ボックスヘリカーゼファミリーに属します。eIF4A サブファミリー。類似性:1つのヘリカーゼ ATP 結合ドメインを含みます。類似性:1つのヘリカーゼ C 末端ドメインを含みます。サブユニット:eIF4F は、外部および内部の環境条件によって構成が変化するマルチサブユニット複合体です。少なくとも EIF4A、EIF4E、および EIF4G1/EIF4G3 で構成されています。PAIP1、EIF4E、RENT2 と相互作用する。XPO7、EIF4A1、ARHGAP1、VPS26A、VPS29、VPS35、SFN との複合体を形成する。NOM1 と相互作用する可能性がある。機能: ATP 依存性 RNA ヘリカーゼ。キャップ認識に関与する eIF4F 複合体のサブユニットであり、mRNA のリボソームへの結合に必要である。現在の翻訳開始モデルでは、eIF4A は mRNA の 5'-UTR にある RNA 二次構造をほどく。これは、小さなリボソームサブユニットの効率的な結合と、それに続く開始コドンのスキャンを可能にするために必要である。類似性: DEAD ボックスヘリカーゼファミリーに属する。類似性: DEAD ボックスヘリカーゼファミリーに属する。eIF4A サブファミリー。類似性: ヘリカーゼ ATP 結合ドメインを1つ含む。類似性: ヘリカーゼ C 末端ドメインを1つ含む。サブユニット: eIF4F は、外部および内部環境条件に応じて構成が変化する複数のサブユニットからなる複合体です。少なくとも EIF4A、EIF4E、EIF4G1/EIF4G3 から構成されます。PAIP1、EIF4E、RENT2 と相互作用します。XPO7、EIF4A1、ARHGAP1、VPS26A、VPS29、VPS35、SFN との複合体を形成します。NOM1 と相互作用する可能性があります。

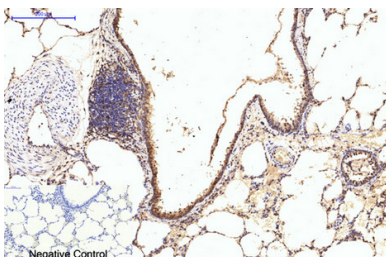
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

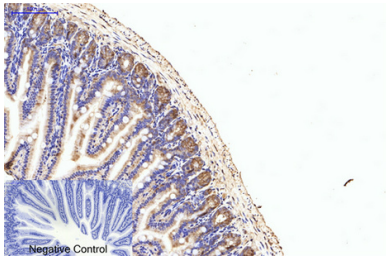
画像データ



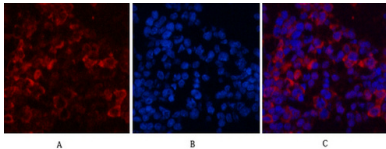
パラフィン包埋ヒト大腸癌組織の免疫組織化学染色。1. eIF4A1 モノクローナル抗体 (M8) を 1:200 に希釈 (4℃、一晚)。2. クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を用いて抗体賦活化 (>98℃、20分) を行った。3. 二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30分)。ネガティブコントロールとして二次抗体のみを用いた。



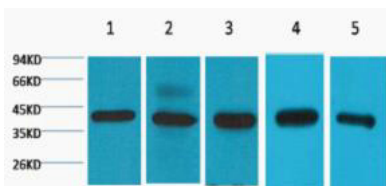
パラフィン包埋ラット肺組織の免疫組織化学染色。1. eIF4A1 モノクローナル抗体 (M8) を 1:200 に希釈 (4℃、一晚)。2. クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を用いて抗体賦活化 (>98℃、20分) を行った。3. 二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30分)。ネガティブコントロールとして二次抗体のみを用いた。



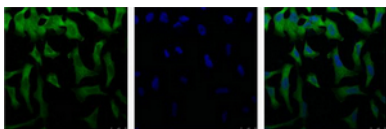
パラフィン包埋マウス結腸組織の免疫組織化学染色。1. eIF4A1 モノクローナル抗体 (M8) を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2. クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を用いて抗体賦活化 (>98°C、20 分) を行った。3. 二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。ネガティブコントロールとして二次抗体のみを用いた。



マウス脾臓組織の免疫蛍光染色。1, eIF4A1 モノクローナル抗体 (M8) (赤) を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈 (室温、50 分)。3, 図 B: DAPI (青) 10 分。図 A: ターゲット。図 B: DAPI。図 C: A+B の合成。



1) 293T、2) Hela、3) HepG2、4) マウス脳組織のウェスタンブロット解析



抗体 (左) と DAPI (右) を 1:100 に希釈した Hela の IF 分析。